

教科名	芸術	科目名	工芸Ⅱ（3年次）【4単位】	
授業形態	講義・実技・鑑賞			
選んでほしい生徒	工芸Ⅰを履修済みの人で工芸作品の制作をさらに深めたい人。			
科目の目標	工芸の基礎的な知識と技術を学び、物作りの楽しさを味わいながら、知識や技術、表現力、鑑賞力を高め生活を心豊かにする心情を養う。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>生活と工芸との関わりについての知識・理解を深める。</li> <li>素材の特性を理解し、発想力を高め独創的なアイデアを引き出す力を付ける。</li> <li>工芸作品の制作過程を理解し、基礎的・基本的な知識・技術を身に付ける。</li> </ol>			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<b>【1学期】</b> 土 ・化粧土による象眼技法 ・紐づくりによる大型作品制作 ・ロクロによる同型の作品制作		<ul style="list-style-type: none"> <li>工芸Ⅰで身に付けた、基礎的・基本的な知識・技能を生かし、さらに発展的な作品制作を行う。</li> </ul>	
	<b>【2学期】</b> 木 ・ほぞ組による椅子の制作		<ul style="list-style-type: none"> <li>工芸Ⅰで身に付けた、基礎的・基本的な知識・技能を生かし、さらに発展的な作品制作を行う。</li> </ul>	
	<b>【3学期】</b> 鑑賞 ・伝統工芸・各国の工芸の特徴		<ul style="list-style-type: none"> <li>工芸Ⅰで学んだ工芸の知識をさらに深め、全国の工芸作品の特徴や歴史を学習し、レポートにまとめる。</li> </ul>	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	・工芸の創造活動の喜びを味わい、工芸や工芸の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	・感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え制作の構想を練っている。	・創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。	・工芸や工芸の伝統と文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
	上記の観点を踏まえ、各学期とも評価を行う。			
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>一つ一つの工程をきちんと身に付けよう。</li> <li>準備や後片付けをきちんとする習慣を身に付けて安全で作業をしやすい環境を作ろう。</li> <li>工芸Ⅰで学んだことを生かし、さらに発展的な作品制作に挑戦しよう。</li> </ol>			
教材費	約6,000円（陶土、釉薬、木材 等）			
その他	特になし			